

# 地域とともに育つ コミュニティ・スクール

令和7年1月17日

成田市教育委員会

学校運営協議会では、各学校で学校運営の基本方針の承認を受けて、具体的な教育活動について話し合いが行われています。承認とは、目標を共有し、よりよい学校を共につくっていかうとする意志確認（Let's）となります。学校運営への参画の中で、子どもたちを支えるための熟議をおこない、地域と学校が連携・協働した教育の実践へとコミュニティ・スクールのしくみが進んできています。

## 学校運営協議会の様子

それぞれの学校でどのような協議がされているのか、紹介いたします。

### 新山小学校

学校評価の考察を基に、現状の学校の課題について、協議が行われました。



#### ●生活習慣やコミュニケーションの力をつけるにはどうしたらよいか

→基本的な生活習慣（早寝・早起き・朝ごはん、家庭学習等）については、社会状況の変化が家庭に及ぼす影響も大きく、食生活についても心配がある。家庭と連携しながら支援を考えていく必要があるとの意見が出されました。

コミュニケーション力の育成については、生活の中でも、子ども同士で自然にコミュニケーションを図りながら、言語を習得したり、友達との関わり方を学んだりしているとの学校の説明を受けて、「日常の様子から、子どもたちとの対話を大事にして関わってくれていることがわかる。」との感想がありました。支援が必要な児童の実態を把握して、要因を探りながら子ども同士が心を打ち溶け合えるような手立てが必要ではないかという意見が出されました。

#### ●情報共有について

→学校の様子等の必要な情報については、会議の際以外でも、学校運営協議会委員に情報共有できるとよいという意見が出されました。

### 公津の杜小学校

学校評価や全国学力・学習状況調査の考察を基に、現状の学校の課題について、協議が行われました。

#### ●全国学力・学習状況調査の結果より、自己決定力が不足していると考察するがどうしたらよいか

→学校でも家庭でも、失敗しないように大人が早めに答えを出してしまっており、大人（教員・保護者）の介入の仕方やアプローチの仕方の工夫・改善が必要ではないかという意見が出されました。学力については、教職員の資質・向上を図ることで、さらに児童の能力の育成につなげてほしいという意見もありました。

#### ●登下校時の歩き方や横断歩道の渡り方が危険な児童が多いがどうしたらよいか

→命に関わることで、学校とPTA等で連携し、継続して指導をしていくことを確認しました。

#### ●授業の様子について

→子どもたちに自主的に学ぶ場面を意識して作っており、どの子にも学びが保障されている。ICTの活用や掲示物の工夫等、学習環境も整っているとの感想がありました。ICTの活用だけでなく、本や辞書を使う機会もつくり、調べる力をつけることも必要との意見が出されました。



裏面もご覧ください。

# 八生小学校

現状の学校の課題について、協議が行われました。



## ●家庭学習の記録から、家庭での時間の使い方を改善するにはどうしたらよいか。

→スクリーンタイム（タブレット・テレビ・ゲーム機等、画面のあるデバイスを学習以外で使用した時間）の時間が増えている学年があるという実態から、規則正しい生活リズムの乱れと適切な情報を正しく利用しているかとの心配があり、学校としてできることはないかという課題について、話し合いが行われました。何のために学習と健康について記録をしているか、目的を明確にして、使用の制限をつけたり、ネット被害の事例をもとに、情報モラル教育の工夫改善を図ったりしてはどうかといった具体案が出されました。

## ●通学路の安全について

→学校前の道路が整備されたことから、通学路の変更について確認をし、交差点の横断の仕方や安全な通学路について意見交換が行われました。今後も地域での見守りの継続を行い、危険個所の整備や安全面での見守りの支援について働きかけていく必要があるとの意見が出されました。

# 遠山小学校

学校評価の考察を基に、現状の学校の課題について、協議が行われました。



## ●遠山小学校のよさを生かした教育活動を継続していくためにはどうしたらよいか。

→児童の個に応じた支援への課題について、教育相談の実施や養護教諭・スクールカウンセラー・教育相談員と連携して、児童全員と面談をしていることは継続してほしいとの声がありました。

授業の様子から、「小グループでの話し合い活動では、児童が自分から進んで発言しており、児童が育っていることを感じた。少人数だからこそ、一人一人に活躍の場があることは遠山小のよさであると思う。」との感想がありました。

今後のPTA活動についても意見交換があり、家庭と連携しながら、持続可能な活動へと見直しをしていく方向性が話し合われました。遠山小のこまの森でのかたくり鑑賞会や遠山まつり等、特色を生かしながら内容を改善して実施していくとのことから、PTAとの連携についても話題になりました。

**学校と地域がパートナーとなることで、保護者や地域住民等の理解と協力を得た学校運営が実現**

